

2023年4月14日

「コロナワクチン接種」受託事業における不正請求について【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
事務局長 石川 聡一郎

1. コンプライアンスを逸脱する不正行為は、断じて許されない

大手旅行会社による「コロナワクチン接種」受託事業において、人件費の不正請求が明らかになった。不正請求の事実を隠蔽するため、再受託業者に記録の改ざんを指示し、また管理職がその事実を知りながらも黙認するなど、コンプライアンスを大きく逸脱する不正行為である。行政によるワクチン接種事業は、税金を活用しており、当該行政のみならず、社会をも裏切る許しがたい行為である。

2. 観光産業の信頼回復にむけて、コンプライアンスの徹底を

観光産業は3年にわたるコロナ禍を経験し、再び日本の基幹産業となるべく動き出した矢先、今回の不正行為は、その動きに水を差すばかりか、この産業で働くものたちの努力や想いを踏みにじる行為である。観光産業は、今回の事案を重く受け止め、再度コンプライアンスの徹底をはかり、社会からの信頼回復にむけ、努めなければならない。

サービス連合は、今回の事案を注視するとともに、健全な労使関係のもと、緊張感をもって協議をし、産業の健全な発展にむけ、引き続き取り組む。

以 上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>